

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果（共通）

※すべての評価細目（55項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-①	理念が明文化されている。	Ⓐ・b・c
Ⅰ-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c
コメント		
・毎年度作成される『保育計画書』には、保育所の理念と方針が明文化されている。〈笑顔あふれる子ども〉①健康でのびのびと生活できる子どもを育てます、等保育の目標が職員や保護者にわかりやすく伝えられ、パンフレットや入園のしおりの最初のページに記載されている。		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
Ⅰ-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a Ⓑ・c
コメント		
・理念・方針が記載されている保育計画書は、各クラスに配布され、職員会議等でその内容について説明がなされている。職員会議には、当日出席している臨時職員や非常勤職員も参加している。 正職員以外に理念・方針を伝えるための取り組みのひとつとして、臨時職員や非常勤職員がクラスに入る際に所長もその中に入り、保育を行ないながらコミュニケーションを図っている。		
・理念や方針はパンフレットや『入園のしおり』に記載されており、保護者に説明されている。歴史もあり、地域の保育所の数も少ない事等から、園の特徴が認知されており、地域への独自の広報活動等は行なっていないとのことである。		

## I-2 計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	(a)・c
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	(a)・c
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	a・(b)・c
I-2-(2)-② 計画が職員や利用者に周知されている。	a・(b)・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『佐世保市行動計画』や『佐世保市公立保育所あり方検討委員会』等で、今後の方向性が検討されている。</li> <li>・『保育計画』には、園の目標、職員の心構え、地域との関わり、保育のねらい等が計画されている。また、食育についての全体計画も作成されている。</li> <li>・『保育計画』は、公立保育所の所長会で作成されるが、地域との関わり等一部の項目は職員の意見を反映している。評価基準では、計画書の作成はもとより、評価や見直しについても、関係職員や保護者等の意見を取り込めるような手順が求められており、今後の改善が期待される。</li> <li>・『行事計画』は年度はじめに配布され、園だよりや行事案内等で知らせているとのことである。『行事計画』は事業計画書の一部であるが、評価基準では、事業計画全体の周知が求められており、『保育計画』等を保護者にわかりやすく説明することが期待される。</li> </ul>	

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。		Ⓐ b・c
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。		Ⓐ b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分担表には、所長・主任等管理者の責任と権限が明記されている。また、保育士との個別面談や日常のこども達との接し方等で自分の考えを伝えている。</li> <li>・所長は保育所運営に関する法令をファイルしており、法令遵守に努めている。さらに、『小佐々保育所の心得』を配布し、待遇や守秘義務、身なり・服装について全職員へ注意を促している。</li> </ul>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。		a Ⓑ c
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。		Ⓐ b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赴任して1年足らずであり、近隣の公立保育所所長を兼務しているため、意欲はあるが園に不在となる場合もあり、取組は不十分との自己評価であった。しかし、研修会の事例を保育現場で実践させたり、保育の場面を観察し、保育士に直接指導する等して所長の考えが着実に浸透してきている。</li> <li>・延長保育の利用者が多く、18時以降保育士が手薄になる状況となったため、シフトを見直し改善を図った。コピーには裏紙を使用するなど、無駄を省いた運営を心がけている。</li> </ul>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。		Ⓐ b・c
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。		Ⓐ b・c
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。		Ⓐ b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入所児童は増加傾向にあり、特に0～1歳児が増加してきている。子どもの数や世帯数等のデータは、市役所を通じて入手可能である。</li> <li>・ 予算と実績を対比し、研修費、消耗費等何に使うかを正職員にはかり、効果的に予算を消化する仕組みである。</li> <li>・ 市役所の監査結果を受け、納品書・領収書の管理や金庫の中に長期間現金を置かない等指摘があり、改善されている。</li> </ul>		

## II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。		a (b)・c
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。		a (b)・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育目標《笑顔あふれる子ども》を達成するためには、保育士の人間性が重要であり、子どもを受け入れようとする気持ち、自主研修への参加等、意欲溢れる保育士を育成していきたいとのことである。 しかし、保育士の半数を臨時職員（1年契約）で揃えなければならず、慣れたところに入れ替わりがあるのが、悩みの種である。</li> <li>・ 人事考課の様式が整備され、各自年間の目標を設定し、上司との個人面談により評価・反省を行ない、次年度の目標につなげている（考課結果は処遇や賃金には反映させていない）。 管理者を中心に研修が実施され、制度の定着に努めているが、人事考課表の提出はまだ少ないようである。</li> </ul>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。		(a)・b・c
II-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有給休暇の消化率や時間外労働のデータは把握されており、職員も概ね満足しているとのことである。 正規職員は年1回、非常勤、臨時職員も契約更新時に個人面談が行なわれ、意向や意見の把握に努めている。また、毎年、旅行や食事会を実施しており、その他の福利厚生も市の基準により受けられる。</li> </ul>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者評価結果
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。		Ⓐ・b・c
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。		a・b Ⓒ
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職種や階層毎に研修の目的、及び対象となる研修名を記載した研修計画が整備されている。</li> <li>・研修計画に基づき、経験年数や職種、職員の意向を踏まえ、研修受講者を決定しているが、評価基準で求めている、職員一人ひとりについての教育・研修計画は未整備であった。 まずは、個別の知識、保育技術、人間性情意等を職員と共に把握することから始め、一人ひとりが課題を持って主体的に学ぶ環境づくりが求められている。</li> <li>・研修受講後、報告書の提出が義務付けられ、感想や今後業務に生かそうと思った点等が記載されていた。報告書の内容等から次年度の研修計画の見直しが行われている。また、年に3回公立保育所共同の研修報告会が開催され、未受講者へのフォロー体制も取られている。</li> </ul>		
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		a Ⓑ・c
Ⅱ-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生受入に際し、スケジュールやプログラム等について説明を行なっているが、受入の意義・方針を全職員に周知できているかについては、やや疑問という、自己評価であった。 評価基準では、受入の意義・方針や職員・保護者への事前説明、実習生に対するオリエンテーションの実施方法等についてマニュアルの整備が求められている。</li> <li>・実習生へのオリエンテーションは主任が行い、全クラスを体験できるよう考慮してプログラムを作成している。また、実習終了後は職員と反省会を行ない、実習生への助言はもちろん、新しい歌やお遊戯を実習生から学ぶ等、新しい刺激も受けている。</li> </ul>		

## II-3 安全管理

		第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。		a (b) c
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。		a (b) c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時や事故、不審者の侵入等に対応するマニュアルは整備されている。感染症や衛生管理等についても掲示物や回覧等で事故防止に努めている。しかし、臨時職員や非常勤職員への周知が十分ではないとの自己評価であった。 子どもの安全に関する職員の意識を高めるには、マニュアルの整備や関連情報を配布する等を行なった上で、定期的に検討しあう場を設置したり、年間の評価・反省を行なう等職員の自発性を高めていくことも方法のひとつである。</li> <li>・遊具については、毎週安全点検を行い、遊具の修繕や使用中止等対策がとられている。ヒヤリハットの事例を収集するために、保育士が記入しやすいチェックシート方式の報告書を作成中であった。今後の継続的な取組が期待される。</li> </ul>		

## II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。		○a・b・c
II-4-(1)-② 施設（事業所）が有する機能を地域に還元している。		a ○b・c
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		a・○b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の老人会、デイサービスセンター等との交流や中学生の保育体験等も受け入れられている。</li> <li>・子どものことばの発達についての講演会を開催、隣接した幼稚園の保護者も参加している。子育て支援事業は実施しておらず、すでに地域に密着しているとの判断から、子育てに関する積極的な情報発信は行っていないとのことである。</li> <li>・今年度、米軍佐世保基地の交流ボランティアを受け入れ、クリスマス、餅つき等の交流をはかり、子どもや保護者へ好評であった。ケーキの持ち込みや写真撮影を一部制限する等、注意事項について事前の打合せが行なわれていた。 ボランティアの要望が少ないこともあり、評価基準で求められているマニュアルは未整備とのことである。</li> </ul>		

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者評価結果
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・b・c
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・小学校との連携、子育て支援、他園の園長・保育士との連携等、目的に応じ様々な機関と連携を図っている。</li> <li>・年齢別研修会や四水会（障がい児保育）、もう一歩の会（子どものこころを見つめ合う）等目的別の事例検討会にも積極的に参加している。</li> </ul>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・b・c
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a・b・Ⓒ
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に子育て支援センターが存在しないため、その必要性を感じているが、現在実施予定はないとのことである。要望があれば、隣接地区の子育て支援センターの案内は行なっている。</li> </ul>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a・b・c
<p>コメント</p> <p>・3歳児の指導計画には、『一人ひとりの気持ちを受け止め、安心して自己表現ができ、安定した気持ちで過ごせるよう援助する』と記載されており、子どもを尊重した保育を実践していることが伺われる。</p>	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a・b・c
<p>コメント</p> <p>・個人情報法保護に関する規程を整備し、全職員から誓約書も取り付けている。また、外部から子どものこと等について問合せがあっても、自分の判断で回答しない等、現場での具体的なルールも設けている。</p>	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	第三者評価結果
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a・b・c
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a・b・c
<p>コメント</p> <p>・市町村合併による町立保育所から市立保育所への移行の際は、保護者からの要望が上がっていたが、現在は少ないとのことであった。行事の際には、日程等についてアンケート調査を行なっている。また、意向や相談は連絡帳に上がってくることがあり、注意しているとのことである。 『要望や意向があまりあがってこない』との理由から、所長の自己評価はBであったが、それは保護者の意向に配慮している姿勢と受け取ることができる。</p> <p>・評価基準では、保護者の満足度の調査を待ちの姿勢ではなく、積極的に聞き取ることを求めている。行事の際にとどまらず、今回行ったアンケートを参考に、定期的実施することもひとつである。</p>	

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・b・Ⓒ
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a・b・Ⓒ
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりや掲示物などで、相談や苦情の対応方法について保護者に案内している。主任が朝の当番に加わり、保護者の意見を直接聞けるよう配慮している。また、今年度個別面談の案内を送付したが、申込はなかったとのことである。</li> <li>・苦情は所定の書式に記録されていた。体調不良時の子どもの様子が十分に伝わらないとの不満があると聞き、送迎時に様子を詳しく伝えること、連絡帳に記載すること等対応方法を改善していた。 しかし、評価基準では、苦情解決の第三者委員が選定されていない場合、C評価と規定しているので、それに準じる。</li> <li>・保護者からの意見・提案について、対応事例を聞き取ったが、保護者からの意見や提案に対応するためのマニュアルは未整備であった。</li> </ul>		

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。		a (b) c
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。		a (b) c
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。		a (b) c
<p>コメント</p> <p>・今回の自己評価には、多くの職員が参加していた。自らのサービスを客観的に、厳しく自己評価しており、質の向上への意欲を強く感じた。特に記録について、今後改善が必要と分析し、記録のとり方について、研修会を行なう予定とのことであった。</p>		
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。		(a) b c
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		a (b) c
<p>コメント</p> <p>・『職員の心得』、『職員のマナーについて』には、あいさつ・言葉遣い・服装や仕事の進め方等について職員のルールが記載されている。今年度整備されたとのことであり、今後は年に1回以上の見直しが求められる。</p>		

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a Ⓑ c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの記録は各クラス別にファイルされ、こども一人ひとりの成長の記録が確認できるよう整備されている。3歳未満時は毎月、3歳以上は3ヶ月毎に《ねらい》目標、《配慮》ねらいを支援するための具体的な活動、《評価・反省》ねらいについての評価・反省が記載されていた。</li> <li>・記録別に保管期間が定められており、廃棄は市役所で一括しているとのことである。また、園内にシュレッターも整備され、廃棄の際の情報保護も配慮されている。子どもの記録は、求めがあれば開示する方針とのことであるが、まだ事例はないとのことである。</li> <li>・全体で共有しなければならぬ子どもの情報は職員会議等で話合っている。情報の伝達等について記録が一部不十分であり、文書での回覧も今後必要との自己評価であった。</li> </ul>		

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。		○a・b・c
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		○a・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・i-子育てネットに園の概要を掲載しており、パンフレットや入園のしおりを整備し、見学も随時受け入れている。</li> <li>・入園のしおりには、園の方針、一日の流れ、病気時の対応、生活に必要なもの等が明記され、イラストや図を活用しわかりやすく工夫されている。</li> </ul>		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。		○a・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・幼稚園との連絡会があり、必要に応じ、卒園後の子どものフォローをおこなっている。</li> </ul>		

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任や看護師を中心に、健康状態や既往歴、アレルギーの有無等の健康状態や食事、睡眠、排泄等の生活の様子について、アセスメントを行い、児童の記録等所定の様式に記録されている。</li> <li>・3歳未満時は毎月、3歳以上は3ヶ月毎に《ねらい》目標、《配慮》ねらいを支援するための具体的な活動、《評価・反省》ねらいについての評価・反省が記載されていた。</li> </ul>		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a Ⓑ c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任を中心に指導計画書が作成されており、こども一人ひとりに配慮する等の記載があった。また、指導計画書は担任による反省・見直しが、毎月行なわれている。</li> <li>所長は、指導計画の作成や評価・見直しについて、担任だけでなく、部門やクラスを横断した関係職員の合議や意見交換を行っていきたいとの意向であった。今後の改善を期待します。</li> </ul>		